

令和 6 年度地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会
議事要旨

日 時：令和 6 年 7 月 2 日（火）15:00～18:15

場 所：中央合同庁舎第 8 号館 7 階デジタル田園都市国家構想実現会議事務局会議室

1. 議事

（1）本申請枠：地方公共団体 A の審議

申請のあった地方公共団体 A について面接評価を行い、それを踏まえた委員の意見交換を行った。委員の主な意見は次のとおり。

- ・ 首長が非常に真剣であり、とても心強い。行政側の意欲を強く感じることができ、印象的だった。
- ・ 新しいチャレンジをしようという大学側のスタンスも見えた。
- ・ 大学 B を中心とした他大学との協力体制や教員の協力体制がよく見えたので、期待したい。また、連携のイメージが明確に示されており、大学間連携のロールモデルとなると思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。

以上の議論を踏まえ、地方公共団体 A の申請は、評価委員会において採択と評価された。

（2）計画作成支援事業：地方公共団体 B の審議

申請のあった地方公共団体 B について面接評価を行い、それを踏まえた委員の意見交換を行った。委員の主な意見は次のとおり。

- ・ 今回提案の研究手法は、研究としては面白いと思うが、産業化までに距離がある印象であるため、優れたシーズや独自性を活かして産業を創出する、より具体的なシナリオが必要である。
- ・ 研究テーマの一つについては、既に開発が進んでおり、本事業でさらに取り組む妥当性を示してもらいたい。また、人材育成や大学改革については具体性が欠けている。
- ・ 教育における大学の連携については、具体的な形が見えず、実現可能か分からなかった。さらなる検討の深堀りが必要ではないか。
- ・ 世界的な研究拠点を目指すという説明があったが、海外研究機関との連携など、どうするのか分からなかった。これまでの実績は認めるが、まだ初動段階という印象がある。
- ・ 本申請では、大学の研究提案ではなく、地域における産業創生が目的であることを明確に意識して、準備してもらいたい。例えば、首長がどう関わっていくのか、示してもらえるといいのではないか。

以上の議論を踏まえ、地方公共団体 B の申請は、評価委員会において採択と評価された。

以上